



【種差海岸】



種差海岸では、八戸がかつてなだらかな地形を利用した大規模な馬の放牧地であったことや、ウミネコの生態、無量神社の歴史など多岐に案内していただきました。参加者からは「豊富な知識の引き出しから玉手箱のように次の展開が飛び出すガイドさんの臨機応変さに驚かされた」との嬉しい感想をいただきました。

観光関係者の皆さんに
三陸のジオツアーを体験していただきました！



1月13(月)～14(火)にかけて、旅行エージェントや旅行雑誌の編集者の方々に北部(八戸～宮古)のジオツアーに参加してもらいました。

寒い中、本当にありがとうございました。



【久慈駅周辺】



【久慈琥珀博物館】



久慈市では、あまちゃんロケ地を巡るジオツアーに参加いただきました。ドラマのエピソードを聞きながら久慈駅周辺のロケ地を巡り、小袖海岸ではロケ地の主要なポイントである灯台近くの夫婦岩についてその成り立ちなどをわかりやすく解説していただきました。

【小袖海岸】



2日目のスタートは、NPO体験村・たのはたネットワークの「サッパ船アドベンチャー」。厳冬期の乗船のため名前のとおりのアドベンチャーでしたが、参加者からは「文句無しに楽しめるプログラム。サッパ船を使うことで、通常の観光遊覧船とは違った目線で体験できることが最大の魅力」との高い評価をいただきました。また途中で船頭さんが自分のワカメ養殖場所を案内してくれると、ワカメ養殖を初めてみた参加者は大喜びでした。

【サッパ船アドベンチャー】



【学ぶ防災】



最後に、田老地区で被災地ツアーを行っている「学ぶ防災ガイド」に参加しました。ガイドのさんの真剣な語りに、参加者からは「津波語部は他市町村でも活動しているが、学ぶ防災チームは、その中でも飛びぬけて素晴らしい」との高評価をいただきました。また、今後の発展形として、「コースプログラムの一つに、田老独特の地形による過去の津波被害やジオパーク的な要素を盛り込んだものを加えるのも魅力アップにつながる。」とのアドバイスもいただきました。



全体的に三陸ジオパークのジオツアーが多彩で魅力的であるという評価をいただきましたが、今回案内したツアーの中には少し厳しい評価をいただいたものもありました。参加者からの貴重な御意見は、各市町村を通じてガイド団体にフィードバックし、今後のツアー内容及びガイド手法の改善にそれぞれ役立てていただければと思っておりますし、協議会でも研修会の内容を一層充実させてまいります。